

特殊詐欺対策通信

令和5年
10月
まとめ

特殊詐欺発生状況 ▶ 令和5年1月～10月の状況

10月中	件数	金額	1～10月	件数	金額
R5年	12	約2,450万円	R5年	147	約4億6,340万円
R4年	12	約1,060万円	R4年	131	約2億4,940万円
増減	±0	約1,390万円	増減	+16	約+2億1,400万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

手口ピックアップ!

国際電話番号が犯行に利用される特殊詐欺!

今年7月以降、全国では、**国際電話番号が犯行に利用される特殊詐欺被害**が急増しています。県内でも国際電話番号からの電話による被害が確認されており、今後も国際電話番号が犯行に利用される特殊詐欺が増加する可能性があるため注意が必要です。

国際電話番号とは、例えば、アメリカ「+1」、イギリス「+44」、マレーシア「+60」、オーストラリア「+61」、中国「+86」などが電話番号の頭に付されて表示される電話番号です。

県内で確認された国際電話番号が利用される手口の一例（オレオレ詐欺）

自宅の固定電話に医師を名乗る男から「息子さんか喉の病気で治療をしている。」などと電話がある。

この電話が
国際電話番号でした!

息子の上司を名乗る男から「息子さんが会社のキャッシュカードを紛失し、支払いのお金が下ろせなくなりました。」などと電話がある。

息子を名乗る男から「喉の治療で声が枯れている。」「上司の親にもお金を準備してもらっている。」「我が家もお金を用意できないか。」などと電話がある。

息子の上司を名乗る男から「息子さんが吐血して病院に戻っている。」「代わりに私の息子がお金を受け取りに行く。」などと言われ、訪ねてきた男に用意した現金を手渡す。➡被害

※紹介の手口は本年4月に認知した手口です。

【国際電話不取扱受付センターをご存じですか?】

KDDI株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社及びソフトバンク株式会社の国際電話三社が海外からの発着信の停止を受け付ける窓口として共同運営しているセンターで、**固定電話とひかり電話**を対象に**無料申込み**手続きを行えば、**国際電話番号からの発着信を休止**できます。国際電話番号からの発着信が見込まれない、あるいは、同番号からの発着信を必要としない方への申込みの広報をお願いします!

▶ 国際電話不取扱受付センターの申込みを希望される方は同センターウェブページをご確認下さい。

トピックス

10月中、JA牛窓支所では、来店客が携帯電話で通話しながらATMを操作していたことから不審に感じた職員が声を掛け、職員が電話を代わったところ、会話内容から還付金詐欺の電話であることを見抜き、電話を切ってATMの操作を中断させるなどして還付金詐欺被害を未然に防止しました。また、ローソン倉敷広江五丁目店では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に特殊詐欺注意喚起チェックシートを閲覧させたところ、シートの内容と購入理由が一致したことで詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

このほかにも、金融機関、コンビニエンスストアなどで合計24件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

JA牛窓支所の方は、特殊詐欺の手口を理解していたからこそ、通話内容から電話が詐欺であることを見抜くことができ、また、ローソン倉敷広江五丁目店では、電子マネーカード購入者に注意喚起チェックシートを閲覧させるような指導ができていたからこそ、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができたもので、いずれも水際対策の好事例です。